

## 授業科目

## 臨床神経学

【担当教員名】 今村 徹	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## 【概要】

本科目は前期に開講した『神経科学』を引き継ぐ科目である。前期の学習内容をもとに神経疾患の学習を進める。臨床現場では、神経科学の知識に基く論理的な病態理解とともに、患者の臨床像を症候群的に把握する能力も重要である。後者の学習のために、病態生理学、疾患各論と症候学、診察検査法等をできるだけ関連させて授業を進める。

## 【学習目標・行動目標 : SBO】

代表的な神経疾患について、神経科学の知識に基く論理的な病態理解と、臨床像の症候群的理解の両者を身に付けることが目的である。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	臨床症候群という考え方		担当教員 : 今村 徹
2	大脳基底核疾患		・すべての授業を講義形式で行う
3	筋疾患		・以下の資料を学内LAN経由で学生にあらかじめ配布する
4	神経筋接合部疾患、末梢神経疾患		(1)講義資料のPowerPointファイル
5	神経根・脊髄疾患		(2)過去の定期試験問題とその解説
6	脳幹・脳神経疾患（1）		
7	脳幹・脳神経疾患（2）		
8	脳幹・脳神経疾患（3）		
9	小脳疾患		
10	意識障害と注意障害		
11	失語症		
12	その他の認知機能障害		
13	認知症		
14	その他の疾患		
15	まとめ		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	簡要神経学（第4版）	岩田誠、岩田淳訳	MEDSI	2006・3,800円+税
参考書				
その他の資料	(学習方法の欄に記したとおり)			

【評価方法】 定期試験のみで評価する	【履修上の留意点】 脳血管障害など『神経科学』で扱った疾患の一部は、授業の主題には含めないが、定期試験の出題範囲には含める。
-----------------------	---